システムセットアップガイド

本システムはコンパクトながら迫力あるドルビーデジタルやDTSサウンドで、あなたの部屋をホームシアターに変身させます。
このシートでは、はじめてこのシステムをお使いになる方のために、接続と設置のしかたを説明しています。

次の付属品が入っているか確認してください

(図は組み立てた状態です)

ディスプレイケーブル

コントロールケーブル A

青

コントロールケーブル B

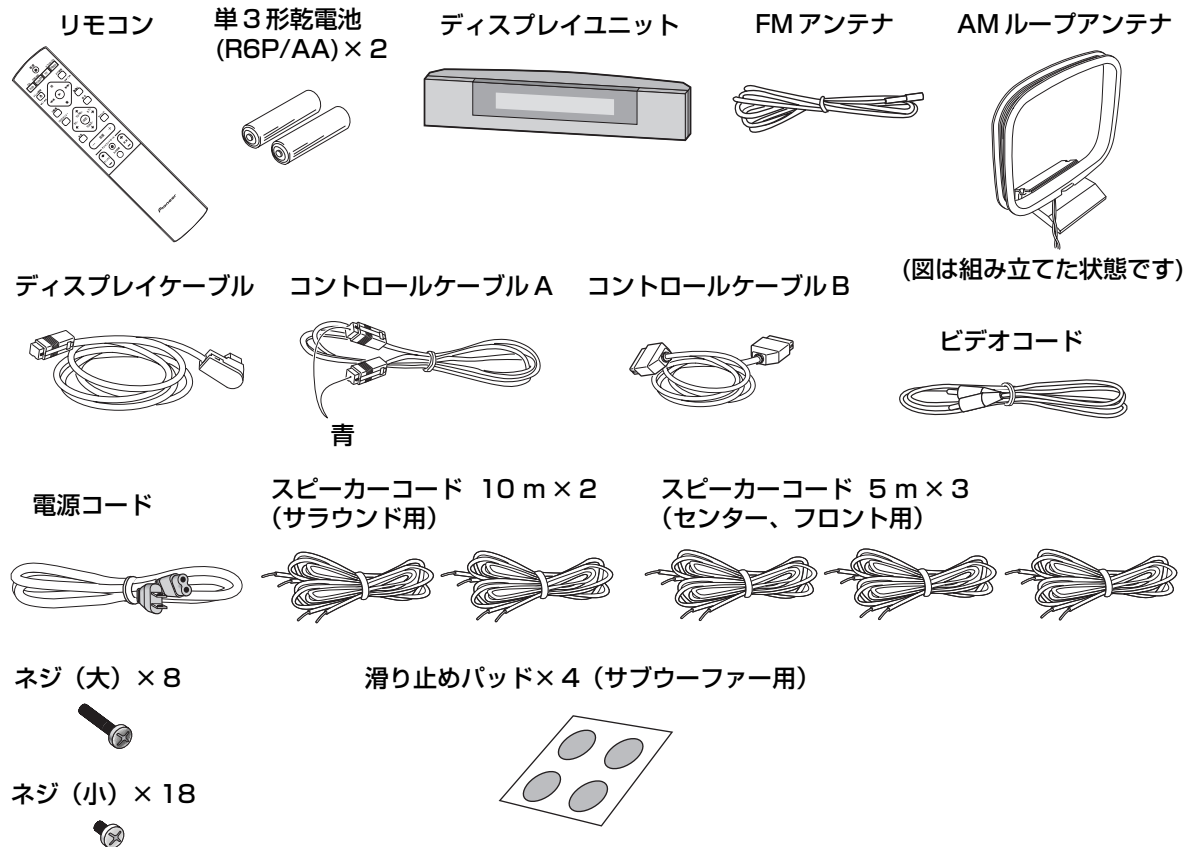
ビデオコード

電源コード

スピーカーコード 10 m×２
(サラウンド用)

スピーカーコード ５ m×３
(センター、フロント用)

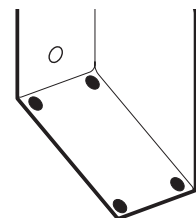
ネジ（大）×８

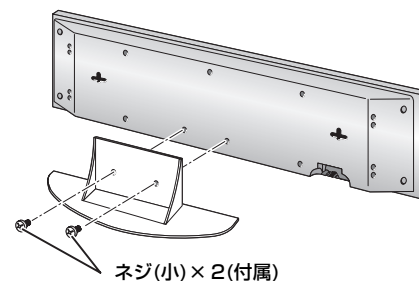
ネジ（小）×18

滑り止めパッド×４（サブウーファー用）

取扱説明書、システムセットアップガイド（本書）、保証書、
安全上のご注意、ご相談窓口・修理窓口のご案内

滑り止めパットの使いかた

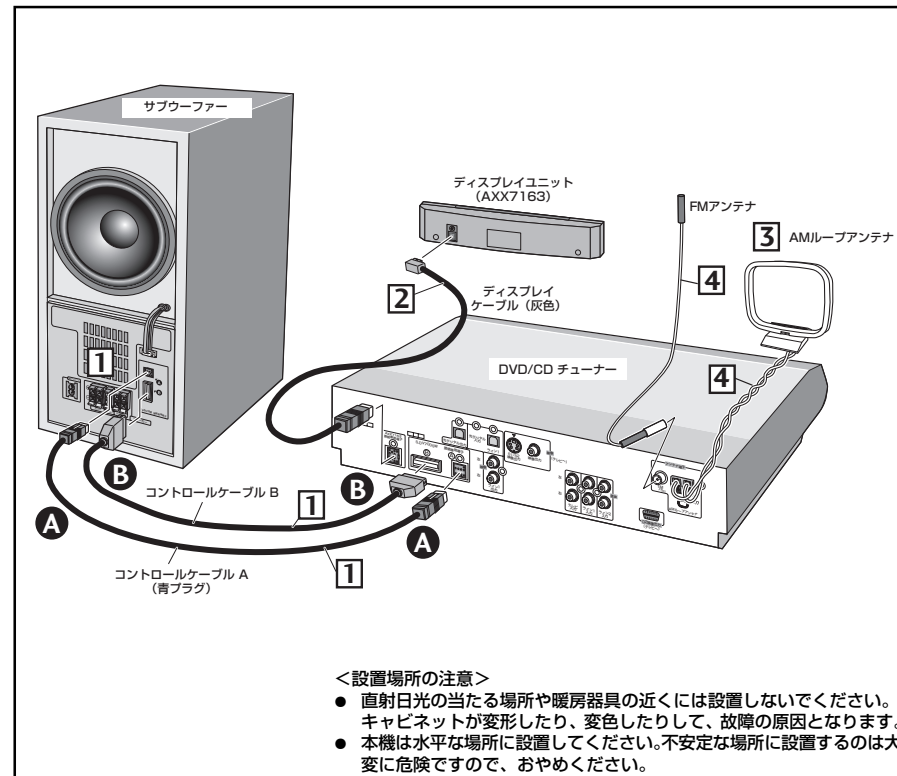
滑り止めパッドをサブウーファーの底面に貼り付けます。
下図のように貼ってください。

サブウーファーの底面

スタンドの脱着
(センタースピーカーの場合)

下図のように脱着します。

接続のしかた

⚠注意 接続を行う場合や変更を行う場合には、必ず電源コードを抜いてください。
電源コードはすべての接続が終ってから壁のコンセントに接続してください。

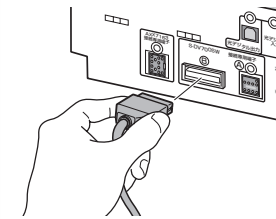
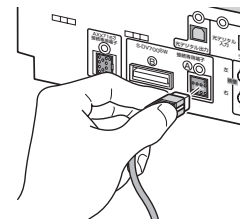
<設置場所の注意>

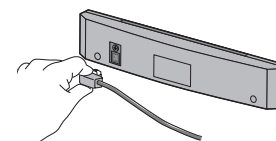
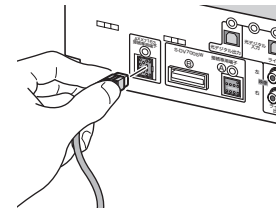
- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くには設置しないでください。キャビネットが変形したり、変色したりして、故障の原因となります。
- 本機は水平な場所に設置してください。不安定な場所に設置するのは大変に危険ですので、おやめください。

1 サブウーファーとDVD/CDチューナーを２本のシステムケーブルで接続する。

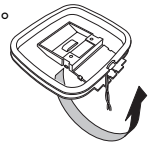
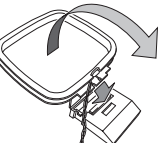
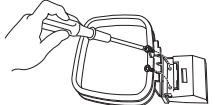
1. コントロールケーブル A（青プラグ）の一方をDVD/CD チューナーの Ⓐ 端子（S-DV900SW 接続専用端子）と接続する。

2. コントロールケーブル A（青プラグ）のもう一方をサブウーファーの Ⓐ 端子（XV-DV900 接続専用端子）と接続する。

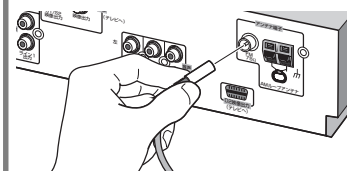
3. コントロールケーブル B の一方を DVD/CD チューナーの Ⓑ 端子（S-DV900SW 接続専用端子）と接続する。

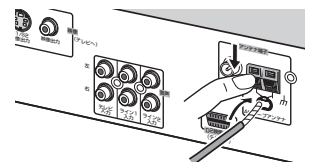
4. コントロールケーブル B のもう一方をサブウーファーの Ⓑ 端子（XV-DV900 接続専用端子）と接続する。

2 DVD/CD チューナーシステムとディスプレイユニットを接続する。

1. ディスプレイケーブルの L 形プラグをディスプレイユニットと接続する。

2. ディスプレイケーブルのもう一方を DVD/CD チューナー（AXX7163 接続専用端子）と接続する。

3 AM アンテナを組み立てる

1. 台座の部分を矢印の方向へ折り曲げる。

2. ループの部分を台座に差し込む。

3. 壁などに取り付ける場合は、ネジ止めして固定してから手順 2 を行う。

- ネジ止めする前に受信状態を確認することをおすすめします。

4 FM アンテナと AM アンテナを接続する。

1. FMアンテナのプラグをFMアンテナ端子の中心ピンに差し込む。

2. AM ループアンテナのリード線の被覆をねじりながら取る。

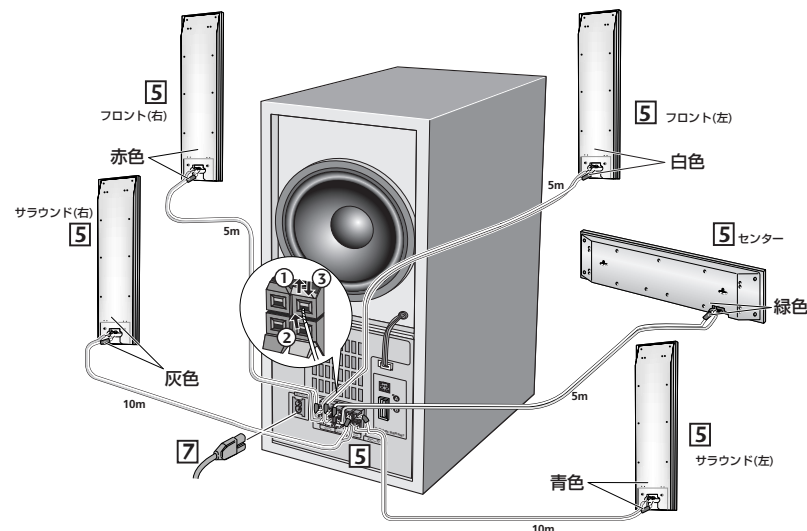
3. AM アンテナ端子のレバーを押して開き、芯線を端子に差し込む（2ヵ所）。

- アンテナは、他のケーブルやディスプレイユニットから離してください。
- FMアンテナは垂らしたり丸めたりせず延ばして、最も良い受信状態が得られるように張ってください。
- 付属のアンテナでよく聞こえないときは、取扱説明書の「外部機器との接続」を参照してください。

パイオニア株式会社 〒153-8654 東京都目黒区目黒１丁目４番１号
<ARA7185-A>

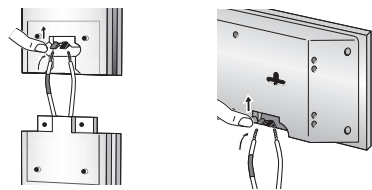
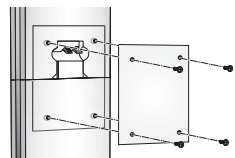
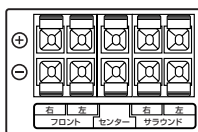
スピーカーラベルとスピーカーコードのカラーチューブの色を合わせて接続してください。

自動デモ表示の解除

壁のコンセントに電源コードを差し込むと、ディスプレイユニットがデモンストレーション表示を行います（デモモード）。また、DVDやCDを停止し5分以上何も操作しないときもデモンストレーション表示を行います。デモンストレーション表示中に操作ボタンを押すと、デモンストレーション表示を終了します。
デモモードの解除は、電源がオフのときに、以下の手順で操作します。

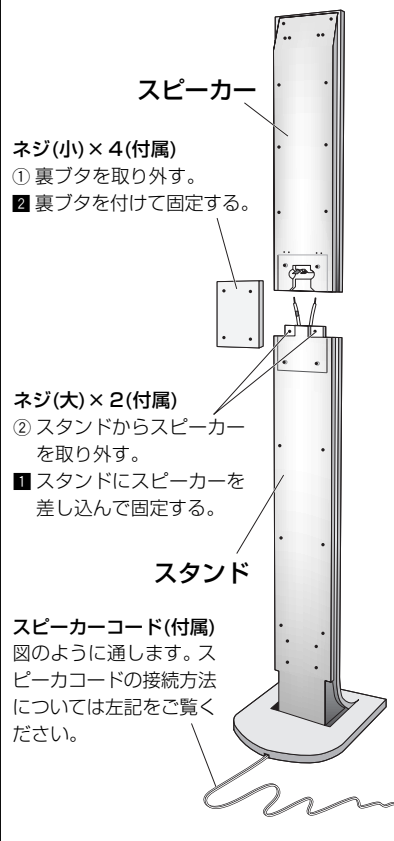
1. リモコンのメインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えて、システム設定ボタンを押します。
2. ⇦⇨ ボタンを押して、"Demo Mode?" にしてから決定ボタンを押します。
3. ⇧⇩ ボタンを押して、"Demo off?" を選んでから、決定ボタンを押します。

5 スピーカーコードを接続する。

スピーカーコードの接続はスタンドからスピーカーを取り外した状態で行ってください。詳しくは右記のスピーカースタンドの脱着についてをご覧ください。

1. スピーカーコードの先端の被覆をねじりながら取る。
2. スピーカー端子のレバーを手前に引きながら芯線を端子に差し込む。カラーチューブ側を端子の赤側、カラーチューブのない方を端子の黒側に差し込む。

3. スタンドにスピーカーを差し込みネジ(大)で固定した後に、裏ぶたを付けてネジ(小)で固定する。

4. サブウーファー側のスピーカー端子にも接続する。

① タブを押す
② コードを差し込む
③ タブをはなす

スピーカーコードのカラーチューブの色と、サブウーファー側のシールの色とを合わせます。

スタンドの脱着(フロント / サラウンドスピーカーの場合)

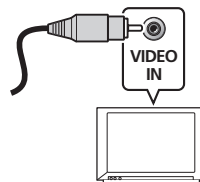
- スタンドとスピーカーを取り外す場合は ①～② の順で行います。
- スタンドとスピーカーを取り付ける場合は ❶～❷ の順で行います。

⚠注意

本機のスピーカーを他のアンプに接続しないでください。故障、火災の原因となることがあります。

6 テレビを接続する。

お持ちのテレビが, S(またはS1, S2)端子やD端子（D1, D2, D3, D4）対応の場合や、外部機器への詳しい接続方法は、取扱説明書をご覧ください。

1. 付属のビデオコード（黄色のプラグ）をDVD/CDチューナーの映像出力端子に接続する。

2. ビデオコード（黄色のプラグ）の反対側をテレビのVIDEO IN端子等に接続する。

⚠注意

本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。
本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピーガードによって正常な再生ができないことがあります。詳しくはお使いのテレビメーカーにお問い合わせください。

7 電源コードを接続する。

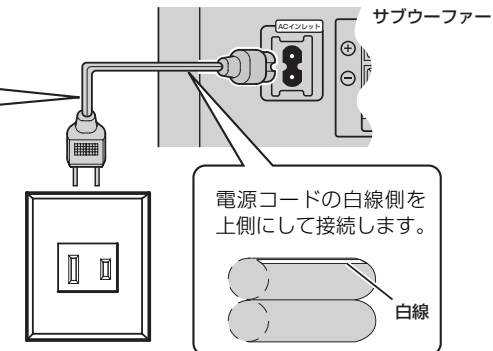
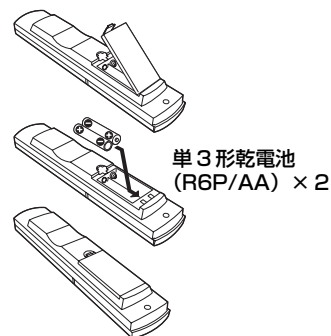
⚠注意

電源コードはすべての接続が終わってから壁のコンセントに接続してください。

よりよい音質でご使用いただくために、電源コードのプラグの向きを右記のように接続することをおすすめします。

リモコンに電池を入れる

乾電池を誤って使用すると液もれや破裂するなどの危険があります。
次の点についてご注意ください。（電池の注意事項もよく見てください。）

1. 乾電池のプラス ⊕ とマイナス ⊖ の向きを電池ケース内の表示通りに正しく入れてください。
2. 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
3. 乾電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがありますので、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
4. 長い間（1ヶ月以上）使用しないときは、電池の液もれを防ぐために電池を取り出してください。もし、液もれを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭きとってから新しい電池を入れてください。
5. 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

リモコンの操作可能範囲は、リモコン受光部との距離が約7 m、角度が左右約30度までです。

- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら電池を交換してください。
- ディスプレイユニット受光部との間に障害物があったり、受光部との角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
- 赤外線を発射する機器の近くで使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると、誤動作することがあります。逆に赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時にこのリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。
- 直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えたり、蛍光灯から離してください。

スピーカーの設置

サラウンド効果を最大限に発揮させるため、下図のようにスピーカーを設置した後に、取扱説明書の「サラウンドに関する設定」（92～97ページ）を行ってください。

- 左右に置いたスピーカーはテレビから等距離になるように設置してください。
- センタースピーカーをテレビの上にできるだけ置かないでください。また、センターチャンネルの音がテレビと同じ位置に配置されるようにしてください。もしセンタースピーカーをテレビの上に置くときは、テープなどを使用して適切な方法で固定してください。固定しないと地震などの外部の振動により、スピーカーがテレビから落下してケガをしたり、スピーカーを破損する原因となります。
- サラウンドスピーカーは耳の高さからやや上方に設置すると効果的です。
- サラウンドスピーカーを視聴位置（リスニングポジション）から極端に離して設置すると、サラウンド効果が十分に発揮されません。
- 本機のスピーカーシステムは防磁設計（JEITA）ですので、テレビと組み合わせても色むらが起こりにくくなっています。まれに設置のしかたによっては色むらを生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15～30分後再びスイッチを入れてください。その後も色むらが残るようでしたらスピーカーシステムをテレビから離してご使用ください。
- 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。
- サブウーファーは放熱をよくするため、壁などから後方向 15cm の間隔をとり、通風スペースを確保してください。